

ザリガニのおもしろ観察

ザリガニの触角は何本あるかな？

頭の先にぴっとたったアンテナのような触角は、短い第一触角と長い第二触角があります。6本ですね。

実は、4本ある第一触角は、根元でY字になってつながっており、本当は2本なのです。

ザリガニはこの触角は水の動きを感じ、水の中に混じったにおいや味を感じます。

においや味を感じるのは触角だけでなく、はさみや足にもあります。人間でいうと、手で味が分かるようなもの？ ケーキをさわっただけで「おいしい！」ってわかるってどんなかんじでしょう。

ザリガニはどうやってえさを食べるの？

ざりがには大きなはさみや歩く足(歩脚)を使ってえさを口に近づけます。そして、**あごについている足(顎脚)**やあごを使って、えさをくわえたりかみくだいたりしています。

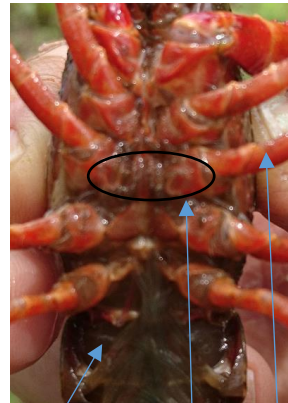
写真を見ると、とてもふくざつなつくりになっていることがわかりますね。



オス



メス



ザリガニのオスとメスのちがいは、おなかを見ると分かります。

メスは卵や子どものザリガニを抱きかかえるために、**腹脚(お腹の足)が長く**、**たまごを生むあな**が**歩脚(むねについている足)のつけね**にあります。

オスは、腹脚が短く、歩脚のつけねにあなはありません。腹脚の一部が**生殖器**に変化しています。



これが第一触覚です。
このつけねにも、あなが..

第一触角の重要な役割 へいこう 平衡感覚器

Y字に分かれた第一触角のねもとには、「**聴囊(ちょうのう)**」というあながあります。

ザリガニは砂やどろを自分で体にかけて、このあなに細かな砂つぶを入れます。触角の中に入っている砂つぶのおかげで、ザリガニは体のバランスを保っています。人間の耳のおくと同じやくわりです。

しかし、この砂つぶは、**脱皮**するときカラとともに失われるので、脱皮したあとにまた砂あびをしなくてはならないのです。

飼うときには水は多め？少なめ？

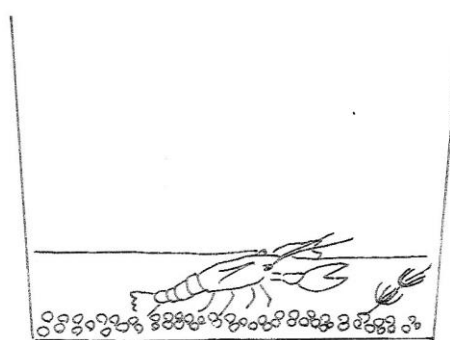
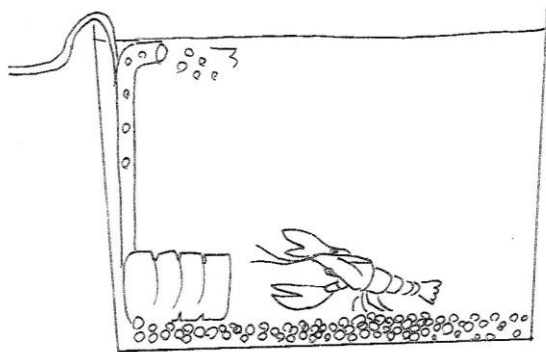
「エアープンプを使うなら多くいれて、入れないならザリガニがひたるくらいの深さがいい。」とよく言われています。なぜ「浅め」といわれているのでしょうか。

水がよごれたり水温の上がったりすると、水の中にとけ込んでいる酸素がへります。そうすると、ザリガニは水面から横向きに体を出して、こうらのふちから空気を直接すいこむのです。浅めの方が水面の空気を吸いやすいのです。

こうらの内側にあるエラがぬれてさえいれば、ザリガニは陸でも呼吸することができます。



わたしは飼っているとき、水はやや深め、そして浮かぶことができるように足場になる水草を入れていました。水が少ないと水換えの回数も多くなり、においが強くなります。水草はえさにもなり、昼には足りない水中の酸素を補給してくれます。水は多い方が汚れにくいのです。それから、ザリガニが横向きに浮かんでいるのは、とてもかわいいですよ。

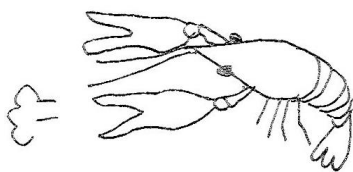


実はあまり泳げない、ざんねんな生き物

エビのなかまの多くはお腹についている腹脚(ふくきやく)をつかって水をかき、上手に泳ぎますが、ザリガニは退化していてほとんど泳ぐことができません。

体を丸め、後ろ向きに水中をジャンプして泳ぐのは、敵からにげる技です。

ザリガニは基本的に「歩くエビ」の仲間なのです。



弱点は脱皮

ある日、ザリガニが白っぽくぶよぶよになって「死んでしまった！」とあわててつまんだら、それは脱皮したぬけがらでした。さわってみると、米ぶくろのビニールのようにです。脱皮したあとのザリガニは、かくれがにしっかりかかれています。しばらくえさも食べず、ずっと出てきませんでした。

なぜかという、脱皮したあとのこうらはとてもやわらかく、天敵どころか、なかまのザリガニにも食べられてしまう危険があるのです。

ザリガニが「共食いする」のはこのときなのです。

多くのザリガニを飼っているときは、気をつけなければいけません。

ザリガニはそうじやさん

エビやカニの仲間であるザリガニは生態系の中でスカベンジャー(そうじやさん)と呼ばれています。ザリガニは生きているものをつかまえるのが下手で、弱っているあるいは死んでいる大小の生き物や植物など何でも食べるからです。池の底で寿命をむかえた生き物たちは、くさるよりもはやく、ザリガニにきれいに食べられて消化され、フンやおしっことなり、微生物や植物の栄養分となるのです。

自然界の中では、重要な役割を果たしていると言えます。